SANKAIDO ARCHITECTURE & ENVIRONMENT DESIGN STUDIO

https://sankaido.com

株式会社 参會堂

HEAD OFFICE
東京 自由が丘

〒152-0031
東京都目黒区中根1-25-23

TEL 03-5726-1120
FAX 03-5726-1135

20061D-4

Custom made lifetime house, whitch has never existed in the world

COMPANY PROFILE

since 1992

SANKAIDO
ARCHITECTURE & ENVIRONMENT
DESIGN STUDIO

地上にただ一つの家

家を建てるということは、その人が歩んできた人生を表現すること。
私たちはそう考えて、家づくりに取り組んできました。自分のライフスタイルに合う家を追求する人々の希望を実現するために、できることは何でもやろう ――――――　そう思って走り続けてきたのです。
個々の感性をカタチにした世界でたった一つの住まい。そこには住み手の美意識や暮らし方がダイレクトに反映されます。出来合いのものでは味わえない、未体験の居心地のよさが生まれます。しかも家は時とともに、住み手とともに成長するものです。
私たちは人と住まいのそうした関係をヨーロッパスタイルに求めました。それは、住まいはもちろん、小さな家具、食器やグラスひとつでも、大切に手入れしながら長く使い続けてゆくカルチャーです。メンテナンスフリーのアルミサッシではなく、使い続けるために手間も時間もかかる木枠の窓を大切にする価値観です。彼らはそうした日常に喜びを見いだし、暮らしを楽しんでいます。
日本には日本の気候風土に育まれた優れた工法があり、そこには日本の歴史に根ざした日本の家のDNAが受け継がれています。
だからこそ、日本で本格的な洋式住宅を建てるときは、本物らしさではなく、本物にこだわることが大切なのです。呼吸する無垢材や漆喰の壁の魅力は洋の東西を問いませんが、日本に出来上がるこの土地に合った家の作り方と、世界の様々な建築の中から見つけたベストだと判断した素材を厳選し、妥協のない家づくりを続けています。
本当の家づくりの楽しさ、暮らす喜びを知る方の家を。

私たち参會堂と住み手とで作る家は、住まい手であるあなただけの、そして地上にただ一つだけの家です。

代表
海老原　進一　1950年東京生まれ。
グラフィックデザインからプロダクトデザインの世界を経て
建築の世界に入る。日本における輸入住宅の創成期より輸入住宅のデザインに関わる。その後独立し、株式会社参會堂を設立。
30年に渡り、『住むこと』という設計デザインを開発し続けている。

デザイン x 素材 x 設計

腕のいい料理人が、素材を吟味するように、建築のデザインや設計に於いてもいい素材選びを抜きにして良質な建物は語れません。
参會堂ではヨーロッパやアメリカなどの本物の素材を自由に組み合わせ、本物だけが持つ空気感を生かして、あたかも現地の建物をそのまま持ってきたかのような建築を造ることができます。それだけでなく、多国籍の素材を様々にアレンジして、オリジナルの建物を造れる会社は、世界広しといえども参會堂をおいて他にないのです。単なる注文住宅という枠を超えたオーダーメイドの家。それが参會堂が造る、地上にただ一つの家です。

構造 x マネジメント

良質な建物を造るということは、見た目だけを造るということだけではありません。
参會堂では全てが自由設計の為、全物件に厳密な構造計算を行い、建物の安全性を間違いなく担保する仕組みを取っています。 基礎や、構造については単に計算値に頼るのみでなく、経験上、補強が必要だと判断する部分には独自に構造材を増やしたり、基礎を強化したりという設計を行っています。 それらを実際につくる現場にも設計者が直接立ち会い、直接自分達の目で見て確認を行っています。
当たり前の事だと思われますが、参會堂の建物は普通の家とはちょっと違います。
建物の品格に相応しい設計と、間違いのない施工を参會堂は提供しているのです。

ヨーロッパ主義

これまで参會堂はおかげさまでたくさんの家を建てさせていただきました。
その中で、一つのことに気がつきました。
ヨーロッパの素材を使った建物は、出来上がりが格段に違うということです。
古い物を残しながら、最新の物を発信してゆくヨーロッパは、今でもまさしく
建築とインテリアデザインの本場ということがいえるでしょう。本場で培われ
た、本物の素材を使うことで、家全体の品格を上げる。
人生を楽しむ、ヨーロッパの豊かな暮らしと、その住文化から生まれた素材
で造る家は、ここ日本においても、生きることの喜びを我々に教えてくれます。

europeanism

DESIGN FLOW

ご契約までの流れ

まずはお気軽にお問い合わせください。 please contact

参會堂の造る家は、住宅メーカーのような決まった商品名というようなものがありません。
しいて言うならば、テーラーの作る仕立てのスーツや、職人が作るオーダー靴のようなものです。
型や布地はありますが、サイズやシルエットは住まい手のスタイルに合わせて一つずつ手作りするのです。スピードの時代には逆行するようですが、仕立ての家づくりをする為には、住まい手との対話は欠かすことができません。
土地探しなど、計画がまだ具体的でないタイミングから、お話をしたいことがたくさんあります。
まずはお気軽にお問い合わせください。

ヒアリング interview & discussions

まずは、どのようなご計画をされているかのヒアリングをさせていただいています。
建物についてのみならず、デザイン・ライフスタイル、将来のビジョンなどもお話をいただければより明確なプランニングが出来るでしょう。
計画地についての情報や、予算計画、ご入居を考えられているスケジュールなども踏まえて、計画を考えてゆきます。率直なご意見をいただいた方が、より正確性のあるプランを立てることができます。お打合せの際には、弊社の過去の作品などの資料もお持ちいたしますので、私たちの作品のエピソードなどもお話ししながら、ざっくばらんにお話が出来ればと思っております。

プランニング planning

いただいたお話を基にして、弊社の方でプランニングに入ってゆきます。基本的にはご要望を敷地の中に収め、弊社の考える理想を目指してデザインを加えたり、素材を盛り込んだりしながらプランを進めてゆきますが、選択肢が複数あったり、考え方によってアプローチが異なってくるような課題については、プランニングの途中でもお話を伺ったりすることがあるかも知れません。
クライアントとは一緒に議論を進めてゆくのが参會堂のスタイルでもありますので、お付き合いをいただければ幸いです。
長期にわたる大切な計画になります。ご呈示したプランが一度で決まるという事は珍しい事ですので、弊社では概ね2-3回を目安に、プラン変更についても対応をさせていただいております。

プレゼンテーション presentation & estimation

プランがまとまった段階で、計画内容に沿った予算計画を概算で弾き出しまして、建物の概要がご理解いただけるような資料を持参して、プレゼンテーションをさせていただきます。
この段階では細部にわたる詳細な設計や、最終的な確定予算をご呈示する事はまだ出来ませんが、大まかな目安になるようなお話は全般的にさせていただいております。
参會堂の建物は全てがオーダーメイドになりますので、この段階で一度ご判断をいただいております。

弊社を建築のパートナーとして、計画を具体的にすることに同意をいただけるのであれば、設計および建築請負契約書に調印いただきまして、具体的にお仕事を進めてまいります。

ヒアリング
敷地条件
資金計画
ライフスタイル
デザインイメージ
スケジュール

プランニング
法的要件
平面計画
デザインコンセプト
予算配分

プレゼンテーション
平面計画
意匠計画
予算書
仕様概要書
スケジュール

ご契約

完成までの流れ

基本設計・建築確認申請 schematic design

実際に建物を造る為には、様々な要件を一つずつクリアして、全体の計画をまとめあげてゆく必要があります。スタートのプランをベースにして構造計算を行い、各部分の必要な構造を設定しながら、空調機や配管などの設備を建物に組み込んでゆきます。それと同時に、採光や排煙などといった建物を建築基準法に則った、適法の建物にする為の各種検討も行ってゆきます。
これらの全ての要件が整った段階で、建物を建てる申請を役所に提出し、許可が下りて初めて、着工の準備にかかることができます。

実施設計・インテリアコーディネート design development

内装についても、打ち合わせを進めてゆきます。基本的にはご契約時に設定した仕様に基づきお話をさせていただきますが、色や、組み合わせなどでご検討をいただきたい点が多々ありますので、設計が進む間、何度かに分けて、打ち合わせのお時間をいただく事となります。
弊社では、外国から輸入してくる建築資材も多数ありますので、着工のタイミングを見計らって、打ち合わせの段階でオーダーを始める資材などもございます。

予算の調整と、施工業者の選定 selection of a contractor

打ち合わせや、設計を進める中で調整を行ったり、仕様変更をした部分についての最終的な予算をまとめ、施工業者の選定を行います。(弊社の下請業者という関係になります)施工店のグレードによっても予算が変わってきますので、ここもある程度のご相談の上で、最終的な予算書に調印をいただいた上で、施工業者を決定し工事の段取りに入ります。

着工と監理 construction & manegement

工事が始まりましたら、特定の工程で設計図通りに施工が行われるかを確認するため、現場で業者と打ち合わせを行います。(設計の監理業務)
また、輸入資材が届くタイミングをコントロールし、現場へ搬入する段取りが平行して行われてゆきます。参會堂の建物は、特殊な部材や、複雑な組み合わせの意匠の物も多いので、工程が進むたびに現場にて施工指導も行ってゆきます。
基本的には参會堂の現場管理(工程の管理業務)の下で、工事がスケジュール通りに進むよう、各業者と連携しながら施工を進めていきます。

最終的には弊社の検査と、役所や第三者機関の検査を経て建物が完成し、完成内容をご確認いただいて晴れてお引き渡しの運びとなります。

基本設計
配置計画
平面計画
規模・構造検討
法的要件
申請図面作成
建築確認申請

実施設計
構造設計
設備設計
各部デザイン
素材選定
仕様決定
建築資材発注

着工準備
予算調整
仕様調整
最終図面作図
設計図書製本
業者選定
下請業者決定

工事監理
基礎チェック
躯体チェック
設備チェック
防水チェック
仕上チェック
着工

工程管理
工事スケジュール
納材スケジュール
検査スケジュール
各種手続き
デザイン調整
完成

WORK FLOW